

報告回	#2政治センター幹事会 (1月度)	#3政治センター幹事会 (5月度)	#4政治センター幹事会 (8月度)
-----	----------------------	----------------------	----------------------

幸田町	所属議員	田境 毅
------------	------	------

目線区分	産業目線
取り組み項目	②企業誘致
テーマ	工業団地アクセス道路の充実と改善
前回まで 取り組み状況	<p>・課題、目指す姿を確認及び提言</p> <p>優良企業を誘致し職場周辺に定住するためのインフラ整備や子育て・教育など、将来にわたり住みよい魅力あるまち、若い世代も地域の活性化にかかわれる環境を実現する。一方で誘致企業が活躍できるインフラ整備は不十分であり、環境変化に遅れることなく先を見据えた環境改善の促進が必要である。新型コロナウイルス感染症への対応含む。</p>
今回 組織内議員の 具体的取り組み	<p>本町施策「工業団地への優良企業誘致および留置」</p> <p>・企業に対する補助や支援体制の充実</p> <p>企業活動での困りごとや過去のトラの吸い上げ、働く者の目線で予防保全や安全対策などの提言</p> <p>＜新型コロナウイルス感染症 緊急経済対策＞</p> <p>・「町民の生活を守り経済を支援するための 50 の施策」</p> <p>目的：期間延長に伴う町民の日々の生活への不安を少しでも解消する緊急対策</p> <p>補正予算(主な施策)・・・総額 54.3 億円</p> <p>施策No.⑨小規模企業等振興資金等信用保証料補助金(町独自)[町費 100,000 千円] など、自動車関連事業所が中心である本町ものづくり産業への支援施策を推進</p> <p>＜町内企業従業員の住環境の充実＞</p> <p>通勤途上の不安全箇所改善要望に対する対策および運転者と交通弱者の双方向目線での提言</p> <p>・働き方の変化による通勤車両通行台数の増加や輸送業誘致による大型車両の増加等、町内の交通車両は増加傾向にあり限られた財源を住民ニーズに応えられる運用としては、優先順位を見極め実行せざるを得ない実態にある。安全はすべてに優先すべきものであり、声の大きい危険箇所を優先に対策を実施（右記）し通勤者、輸送業者の安全運航を支援</p> <p>・公共交通の歩行導線上の受動喫煙未対策場所の是正を実施</p> <p>→分煙レベルアップとして愛煙家にも配慮した対策を推進</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>【図や活動の様子が分かる写真など】</p> <p>＜新型コロナウイルス感染症への幸田町緊急経済対策＞</p> </div> <p>＜物流経路および通勤路の安全対策＞ ※代表箇所</p>
今後の取り組み	<p>・本町および近隣市町での新型コロナウイルス関連の動向は継続して注視</p> <p>・幸田町都市計画および企業立地マスタープランの進捗管理が課題</p> <p>・本町隣接市との道路施策の継続した連携が課題</p> <p>・新規企業誘致推進の後押しになる区画整理事業の推進が課題</p>

報告回	#2政治センター幹事会 (1月度)	#3政治センター幹事会 (5月度)	#4政治センター幹事会 (8月度)
-----	----------------------	----------------------	----------------------

幸田町	所属議員	田境 毅
------------	------	------

目線区分	組合員目線	
取り組み項目	⑥子育て・教育	
テーマ	働きやすい地域協働の子育て施策の充実と安全対策	
<div style="border: 1px solid black; padding: 2px; display: inline-block;">前回まで</div> 取り組み状況	・課題を具体的施策へ落とし込み提言 地域協働で子どもを育てやすいまちづくりを軸に、介護や障がいと付き合うリスクへの備えなど高齢や障がい者への施策の充実など、多様化した本町住民の全世代が安全に安心して住みよいまちづくりが必要である。	
<div style="border: 1px solid black; padding: 2px; display: inline-block;">今回</div> 組織内議員の 具体的取り組み	人口増加による児童増加への地域協働施策の充実 ・将来の人口減少も見据えた柔軟に対応できる施策を推進 →当事者が感じている生の声を基に行政へ気付きを与え主管部署の動機づけ <共働き子育て世帯への支援の充実> ・放課後児童クラブ長期休み中の昼食弁当販売試行開始予定(8月1日報道発表予定) 【経過】 くらしの相談より町子ども課と実現性の検証およびニーズ把握実施。過半数の利用者が望む一食400円を目安に8月の5日間程度試行予定。 ※町内民間飲食業者の事業支援を同時に実現する施策として町子ども課へ提案し推進中 →ステップ1: 2小学校区の実績を基に全6小学校区へ拡大を計画 →ステップ2: 有料から町独自補助施策へブラッシュアップを目指す <新型コロナウイルス感染症長期化を見据えた財源確保> 新型コロナウイルス感染症対策基金の新設(右記参照)し目標額 1億円を積立 →令和2年度: 特別職報酬削減分+コロナによる事業中止予算未消化分など以降、行財政効率化により捻出	【図や活動の様子が分かる写真など】 <利用者アンケート集計結果> ※報道前のため取扱注意 ○アンケート集計結果 第一クラブ: 24枚 第二クラブ: 32枚 第三クラブ: 32枚 第四クラブ: 30枚 合計: 118枚 ○問1「長期休みに昼食(弁当)提供があったら利用されますか?」 ①毎日利用したい: 62件 ②週に数回利用したい: 38件 ③利用しない: 16件 ○問2「①毎日利用したい ②週に数回利用したいと答えた方にご質問です。 昼食(弁当)の金額はいくらであれば利用しますか?」 ①~400円: 74件 ②400~600円: 27件 ③600~800円: 3件 ④800~1,000円: 0件 ⑤1,000円以上: 0件 <長期化を見据えた財源> <div style="background-color: #90ee90; padding: 5px;"> 新型コロナウイルス感染症対策基金新設 【目的】感染対策事業財源確保のための基金 ※目標額 = 1億円 【財源】特別職報酬削減分(下記)、以降は行財政効率化にて捻出 ①町長給料 10%(R2年7月~4年5月までの任期中) ②副町長給料 5%(R2年7月~R3年3月まで) ③教育長給料 3%(R2年7月~R3年3月まで) ④議員報酬 10%(R2年7月~R3年3月まで) </div>
今後の取り組み	・中長期施策については、住民が喜べる最適な利活用を念頭に醸成を踏まえた内容へのブラッシュアップが課題 ・6小学校区で偏ることなく最高の住民サービスを最低のコストで提供することが課題 ・多様化している住民ニーズの反映を継続的に取り組む	